

JCD関東支部賛助会員

みはし株式会社	青木 勇弥	埼玉県和光市白子3-26-43 tel:048-464-3112 fax:048-466-1034 http://www.mihasi.co.jp
西澤工業株式会社	西澤 康明	群馬県高崎市上並榎町445 tel:027-362-6234 fax:027-362-6462 http://www.nishizawakk.co.jp
株式会社ブランドゥ・モトハシ	藤原 巧	東京都練馬区下石神井3-9-10 ガーデンハウス・ベル石神井1-101 tel:03-5923-6505 fax:03-3904-1920 http://www.plando-group.co.jp
株式会社本間工芸	本間 克典	神奈川県相模原市緑区長竹887-3 tel:042-780-0160 fax:042-780-0173 http://www.honmakougei.sakura.ne.jp/
株式会社大川工務店	大原 史弘	東京都目黒区緑ヶ丘2-15-13 国領ビル206 tel:03-3705-5605 fax:03-5701-0383 http://www.ohkawakoumuten.jp
桐野建設株式会社	桐野 温	埼玉県三郷市栄4-258-1 tel:048-954-6606 fax:048-954-6628 http://www.kirino-kensetsu.com
アルプス株式会社	原 康喜	東京都新宿区早稲田南町33 tel:03-3207-0006 fax:03-5272-0051 http://www.alps-co.com
ソリュート株式会社	奥 弘史	東京都千代田区東神田2-7-1 広部ミヤケビル6F tel:03-5809-2815 fax:03-5809-2816 http://www.esgjapan.com
株式会社日吉屋	平山 大輔	京都府京都市上京区百々町546 tel:075-441-6644 fax:075-441-6645 http://www.wagasa.com/
株式会社ユニオン	吉田 幸司	東京都江東区白河2-9-5 tel:03-3630-2811 fax:03-3630-2816 http://www.artunion.co.jp
株式会社ドラフト	長塚 真唯	東京都渋谷区神宮前1-13-9 アルテカプラザ原宿2F/3F tel:03-5412-1001 fax:03-5412-1011 http://www.draft.co.jp/
株式会社和興	貴田 健大	東京都港区東新橋1-1-21 今朝ビル8F tel:03-6274-6222 fax:03-6274-6223 http://www.k-wakoh.co.jp/
有限会社原田左官工業所	原田 宗亮	東京都文京区千駄木4-21-1 tel:03-3821-4969 fax:03-3824-3533 http://www.haradasakan.co.jp/
Soranna Avenue株式会社	ソランナ マルコ	東京都大田区仲池上2-18-14 グランイーグルII-601 tel:090-8304-1458 http://www.sorannaavenue.co.jp
株式会社オーツ QUON TOKYO	西盛 正知	東京都港区港南3-4-27 WAREHOUSE2F tel:03-6433-1075 fax:03-6433-1076 http://www.otu.co.jp
株式会社SIXINCH. ジャパン	乾 敦雄	東京都文京区本郷2-35-10-1F tel:03-6801-6670 fax:03-6801-6674 http://www.sixinch.jp/
株式会社GLORY	申東 照	東京都北区浮間4-23-25 tel:03-3969-2591 fax:03-3969-2592 http://www.gloryad.jp
有限会社Tommy's Works	田澤 淳一	東京都練馬区練馬4-15-23 パークサイド/ハイツ205 tel:03-6764-1000 fax:03-6767-6434 http://tommys-works.jp
株式会社CROWN	所 奈津子	東京都港区北青山2-10-28 1F tel:03-3479-5553 fax:03-3479-5554 http://www.area-japan.co.jp
中愛株式会社	松浦 祐士	東京都大田区多摩川11-31-12 tel:03-5732-0661 fax:03-5732-0660 http://www.chuai.co.jp
株式会社クラマスTK, B	小渡 庄右工門	東京都板橋区蓮根3-27-17 石井ビル3F tel:03-5948-7248 fax:03-5948-7249 http://www.kuramasu.co.jp
アルティ株式会社	北村 健志	東京都港区南麻布4-11-30 南麻布ビル1F tel:03-5449-2500 fax:03-5449-2920 http://www.arti-tokyo.com
株式会社オフィス空間	渡邊 浩志	東京都渋谷区道玄坂1-12-1 渋谷マークシティウエスト14F tel:03-5457-1333 fax:03-5457-1555 http://www.officekukan.jp
株式会社サンズ	天本 健太郎	東京都港区浜松町1-20-8 山市ビル4F tel:03-6809-2725 fax:03-5733-5939
有限会社早瀬塗装工業	早瀬 竜也	茨城県常総市豊岡町丙3836-1 tel:0297-27-6677 fax:0297-27-6678 http://www.hayasetsou.com
ルイスポールセンジャパン株式会社	後藤 謙太	東京都港区六本木5-17-1 アクシスビル4F tel:03-3586-5341 fax:03-3586-0478 http://www.louispoulsen.com
有限会社桐山製作所	桐山 時男	東京都荒川区東日暮里2-31-11 tel:03-3802-0005 fax:03-3801-1170 http://www.kiriyama.co.jp
株式会社PEC	宋 美善	東京都新宿区早稲田鶴巻町556 ラフィネ早稲田301 tel:03-6205-5646 fax:03-6205-5645
株式会社オオカワ	三浦 雄彦	埼玉県三郷市戸ヶ崎2-711-1 tel:048-948-3300 fax:048-948-3320 http://www.ohkawaworks.com
クリヤマ株式会社 東京支社	神田 隆史	東京都千代田区神田駿河台3-4-3 龍名館本店ビル8,9F tel:03-3298-7883 fax:03-5298-7888 http://www.kuriyama.co.jp
新興プラスチック株式会社	松田 好且	東京都中央区京橋3-14-6 齋藤ビルディング1F tel:03-6263-0533 fax:03-6263-0534 https://trans-parency.jp
SSLIGHT JAPAN株式会社	金 敬勲	東京都豊島区池袋2-11-2 アルコイルス3F tel:03-6912-5374 fax:03-6912-5376
匠大塚株式会社	依田 良太	東京都中央区日本橋2-7-1 東京日本橋タワー25F tel:03-6262-5140 fax:03-6262-5145
シンコールインテリア株式会社	上村 雅哉	東京都港区西麻布1-4-26 tel:03-3404-8184 fax:03-3404-3581 http://www.sincol-it.co.jp
株式会社ノベルストーンジャパン	黒野 莉恵	東京都品川区東五反田5-25-19東京デザインセンター5F クリエイティブラボラトリー tel:03-6721-9320 fax:03-6721-9340 http://www.nobelstone.co.jp
関西フェルトファブリック株式会社	貴山 毅	東京都千代田区東神田1-11-1 KFF BLDG. 7F tel:03-5835-5650 fax:03-5835-5654 http://www.kansaifelt.com
株式会社ノミック	井原 健介	東京都中央区築地3-7-10 JS築地ビル7F tel:03-3549-0155 fax:03-3549-0020 http://www.nomic-material.com
株式会社オーシマプロス	大島 亜季子	東京都目黒区下目黒2-16-11 tel:03-5759-5301 fax:03-5759-5302 http://oshima-pros.co.jp/
エービー・ジャパン株式会社	金 兌式	東京都練馬区豊玉北3-25-2 tel:03-5946-3144 fax:03-5946-3146 http://www.ap-japan.jp
野原ホールディングス株式会社 CSカンパニー	二階堂 友美	東京都新宿区新宿1-1-11 tel:03-3355-4261 fax:03-3355-4262 http://www.nohara-inc.co.jp
株式会社アドヴァン	三森 武文	東京都渋谷区神宮前4-32-14 tel:03-3475-0281 fax:03-3475-0280 http://www.advan.co.jp/
FSX株式会社	犬塚 勉	東京都国立市泉1-12-3 tel:042-576-9131 fax:042-572-3266 http://www.fsx.co.jp

2020年02月末現在

JCD
KANTO
Designers

2020
0330
JCD kanto publishing

関東支部
研究セミナー委員会

関東月例会 とくトーク

'19 December 14th
16:00~



水谷壮一が語る
想像を表現する力の
重要性について

トーク第3回目は2016年に一度復活させた「鍋塾」と「ノレンカイ」のコラボレーション。
トークゲストに水谷壮一さんを迎え、美味しい鍋・美味しいお酒を堪能しながらデザイン談義をしました。
水谷さんにトークゲスト依頼の電話をした際、
水谷さん「落語のような講演にしたいと思っています！」
石橋「????」
水谷さん「最近SNSやネットを使えば容易に情報が取得できる世の中で、想像が出来ない時代になっていると思うのです。我々デザイナーは頭の中で考えたものを形にしなければならぬのにその力がだんだんなくなっているように感じます。それを楽しく話したいと・・・」
石橋「へー!なるほど!」
と言う事で今回のテーマが決定致しました。
水谷流デザイン手法が一番分かりやすかったのが「イグアナアイ」でした。
フランスのプロダクトデザイナー、オリヴィエ・タコが手掛けるフットウェアブランド「イグアナアイ」の世界1号店。オリヴィエさんの世界観を表現する為、水谷さんは頭の中にあるモヤモヤをスケッチにしていきました。それを繰り返す事でそのモヤモヤが外れ、空間の中に美しいアルゴリズムドームが出現するデザインが決定したそうです。それを現実化する為の水谷さんの行動力も凄く、スケッチとショップの使い方の説明から、アルゴリズムシステムの構築を行ったそうです。

トークゲスト
水谷壮一

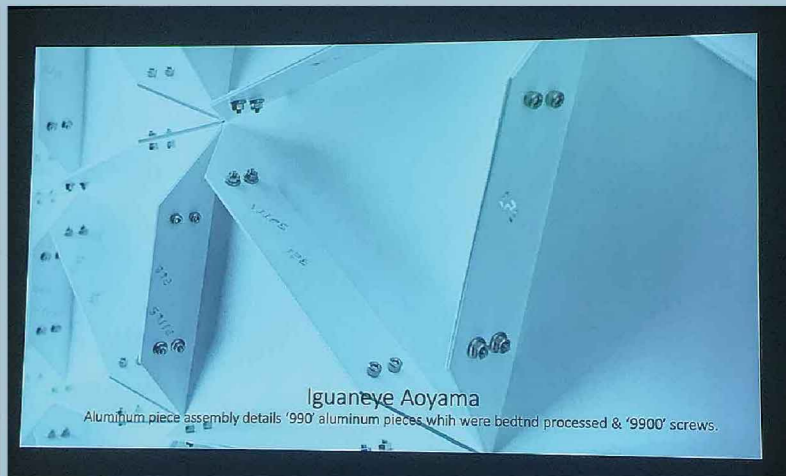
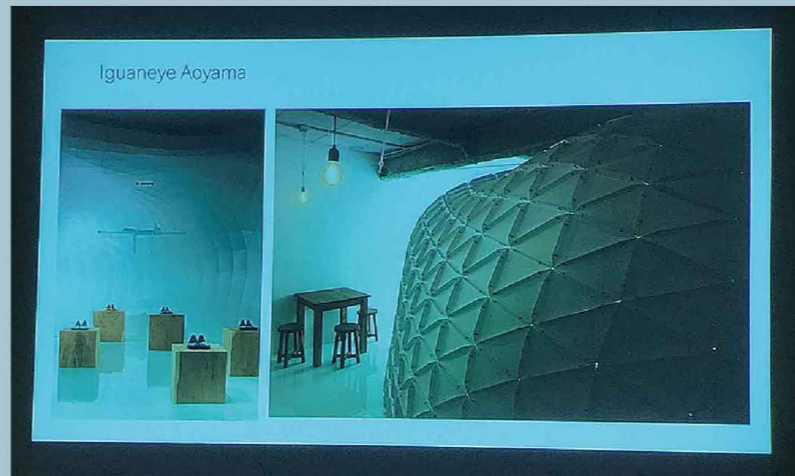


- 1955年 1月 福井県生まれ
- 1975年 4月 京都造形芸術学院 卒業
- 1979年 4月 Plastic Studio & Associates 入社
- 1987年 10月 水谷壮一デザイン事務所 設立
- 1990年 1月 株式会社水谷壮一デザイン事務所にて改組
- 1992年 桑沢デザイン研究所 非常勤講師
- 1995年 ICSカレッジオブアート 特別講師
- 2004年 関東学院大学建築学部 非常勤講師
- 2006年 福島県ものづくり委員会 審査委員
- 受賞歴**
- 1993年 JCD環境デザイン賞 大賞・奨励賞
- 1994年 NGSデザイン賞 審査員特別賞
- Nashopライティングコンテスト 最優秀賞
- 2000年 JCD環境デザインアワード賞 優秀賞
- 2011年 第7回豊中市都市デザイン賞
- 2015年 CDデザインアワード2015 準大賞
- 平成27年度 郡山市 まちなみ景観賞



構造計算を行った上で25cmのアルミのピースをつなぎ合わせ、自立できる建物を建物の中につくる事に成功しました。
出来上がった空間は写真でみても本当にきれいな空間でした。
この空間をつくる為にアルミのピースは一つずつ人間の手でくみ上げたそうです。それも、製作した本人達以外は組み立てられないそうで、かなり難しい作業であったことが見せていただいた写真の中からも感じ取れました。やはり、人間の手でくみ上げたものなので若干のゆがみはあるそうですが、施工性は抜群で現在も単体で自立しているそうです。コンピューターシステムの構築と人の手が一体になった空間。それを作り上げた水谷さんの力こそデザイン力なのだ実感しました。
他の事例も色々話していただきましたが、ここでは面白さを伝えきれません・・・。
講演の様子をYouTubeにアップしていただいておりますので是非ご覧いただきたいと思います。
その後は、お待ちかねの鍋です!
場所を提供していただきました、ホロン環境計画サロンの星さんの奥様(えっちゃん)と鈴木進一郎さんの「山おとこ鍋」。この二人の鍋は鍋塾には欠かせません!今回も作っていただきました!本当に美味しかったので、あっという間になくなりました。
美味しいお酒の力も借りてなのか、世代を問わず美味しいものを食べながらデザイン談義を熱く語っている様子はJCDならではの風景でした。
ご協力いただきました皆様にはこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

関東月例会 とくトーク委員長
コーディネーター/福田裕治
・下村牧子・石橋美幸
執筆・撮影/石橋美幸



会員の近況報告



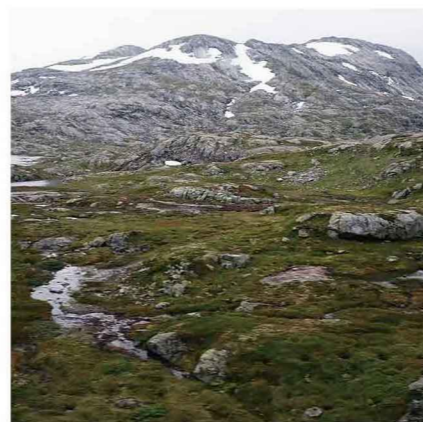
エルサレム



パレスチナ



マサダ



ノルウェー・森林限界



ストックホルム



ディティフォス

「ネオ・ルネサンス時代を生き抜く」

～Survive the Neo-Renaissance era.～



森田 雅美 (もりたまさみ)
株式会社乃村工藝社/
クリエイティブ本部

第一統括部/デザイン2部/グループ2/
グループリーダー/クリエイティブ・コン
サル/クリエイティブ・ディレクター/デ
ザイナー
Affiliation Society: Society for the
Study of Japonisme/ジャポニズム学
会 会員, Japan Commercial
Environmental Design
Association/JCD正会員
乃村工藝社入社後、文化環境事業本
部→商環境事業本部→MC/CC(企業ク
ライアント)事業本部と多業種の業務
経験を経てクリエイティブ本部所属
ランドマークから建築、美術館、博物
館、店舗、ホテル、展示会、住宅、グラ
フィック、デジタル演出まで幅広くク
リエイション活動を行い、ジェネレイ
ティブ・アート×テクノロジー×Zen思想
で「Ultra East Design」を武器とし、ハ
ード&ソフトの高付加価値体験提供で、
顧客ビジネスをサポートしている。

ネオ・ルネサンス時代を生き抜く

前近代のルネサンスが、ゲルマン民族の侵入/
封建社会/神の絶対視であれば、現代の、ナ
ショナリズム/資本主義格差/AIの発展という
類似点から、私は現代を「ネオ・ルネサンス時
代」と認識している。

モノ→コト→ココロの時代へと進化...といえ
ば響きが良いが、実際のところ人間らしく生き
る事への示唆の背景には、人工知能やテクノ
ロジーの発展への恐れが見られる。

・前近代→神が主役→伝統・宗教・神・自然・共
同体尊重/絶対/既存の価値観

・近代～現代→個人が主役→理性・個人/自由/
平等/理性/科学尊重/選択の自由→絶対的な
価値の不在というタガが外れた状況で、真理や
最適解の探求に恐れを抱いていないクリエイ
ターは少なくない、と考える。

WHY?の探究と真理の追究、

過去・今から、未来を創る

私は、アートやデザインを産む際の思考過程を
「まれ人の智慧」と捉え、戦略的な他視点経営
資産と考える、イノベーション型の提案を好む
クライアントから信頼・指名を得ることが多い。
建築/内装/映像・音響演出/情報コンテンツま
で、アウトプットカテゴリに捕らわれず、「デー
タ/過去」や「情報/今」を活用し、「投資価値/未
来」を明確化する発想を得意としているからだ。
結果、創作するモノやコトのイノベーション型

の取組とクリエイティブ力が評価され、ミュ
ージアム/娯楽施設/物販/展示会等、「市場」に
捕らわれず、「次世代」という時間軸カテゴリで
国内外のアワードを受賞させていただいた。が、
受賞はクライアントやJOBチームと「未来を
創ったオマケ」と考えている。

何時が経済/社会動向/歴史の潮目なのか?原
因は、感情か環境か?刻の流れの中で変化の
ルーツを常に探っている。それらが景気動向で
あり顧客の利益であり受注するJOBや推進す
る内容に密接に関わってくるから...だけでは
なく、発生の仕組みの読み解きが面白くてや
められない。パトンの「せいめいのれきし」を
初めて開いた日、進化の授業でワクワクした感
じをずっと引きずっている。それは産む為の
エンジンであり、生きて行かなければならぬ上
で、気が紛れる最高の刺激であるからだろう。
この時代に「くらし」と「しごと」はシームレスで、
1～5の無限循環だ。

1・現状認識→世界や情報がフラットになり、民
族、文化、宗教、資産を得る立場等、多視点での
真理や正義が立ち上がっている事を認識する。
2・変化のセンシング→既存のスキーム、新規
のドリームスキームの綻びを考える、直近であ
れば...

・資本主義格差、GAFAへの世界的な規制強化。
・セキュリティスキーム(ブロックチェーン)の綻
び、理想と闇のギャップ。
・AIや量子コンピュータのジャッジ速度。

・情報やウイルスの拡散しやすさと人心許容の
相反

3・理由の探究→論理やスキームの揺り戻し、
歴史の流れ、地理的变化、惑星レベルでの活動
の起源・理由/影響・結果を理解し、多くの公式
を蓄積する。

4・公式化→多くのWHY/BECAUSEの公式
を融合させ、アップデートさせ、未来を産む
アルゴリズムを創る。

5・対話でのアップデート→相手を選び、限ら
れた時間の中で真理追求を続け、未来のイメ
ージを常に更新し、生き残る。
そして、自身との対話。

・最適解を超えるという事はどのような事か?
・それは美しいのか、美しくないのか?
・美しさという衝撃が心を捉えて離さないの
は...なぜか?

「能動的ニヒリズム」は発想のベースになっ
ており、アップデート策としての「多視点との
対話」は基本スキームとなっている。稀に「虚無
への供物」を創ってしまっても、それが実は一番
創りたいモノかもしれないと思う。意味が或る
モノも美しいが、意味の捉えられないモノへの
希求は止めることが出来ない。

美を狩る/効率的に情報を取り、思索する

最初のホームステイ、靴を履いたままの家屋内
のくらし。ニューヨークのトイレ扉のペニアが

剥がれている高級百貨店。ハギア・ソフィアの
モザイクの細かさ。清潔/均質/総中流のクオリ
ティに囲まれて育った感性に入れられた様々
なジャブ。以降、世界50か国、200都市以上で
人文学/社会科学/自然科学/応用科学/総合
科学に基づく、自然/ランドスケープ/歴史/文
化/遺構/建築/アート/デザイン/文化&商業施
設/トレンド/事象を自主調査し、その場での最
適解や真理に常に刺激を受けている。

卒業旅行というグランドツアーが戦争で中止
になってしまった為、入社以降の給与と休暇を
活用した海外や国内調査が分割グラントツ
アーとなった。限られた機会と資金で世界の仕
組みを効率的に理解する為、4大世界美術館
→ローマ帝国覇権国家→古代5文明→地学的
なハイインパクトフィールド→美的な価値を感
じるオルタナティブ・ワールドを計画的に周っ
ている。

労働寿命や体力を考え、中長期の調査予定地
の計画を立て、常に調査地を更新している。近
年、移民問題やテロ、ポピュリズムで、国家間
はかなりギスギスした感じに変化してしまった。
見逃したため爆破されてしまった遺跡や美術
品も多い。机上では実感・理解が及ばない事
が多く...だが時間は足りない。イラン一
番の収穫は、持参した書籍をメソポタミア/
ペルシャ/イスラームと年代順に並べられた
という事で、フワァリズム/アルゴリズム
までは深掘出来なかった。きな臭くなる
前に、ソロアスター→ユダ

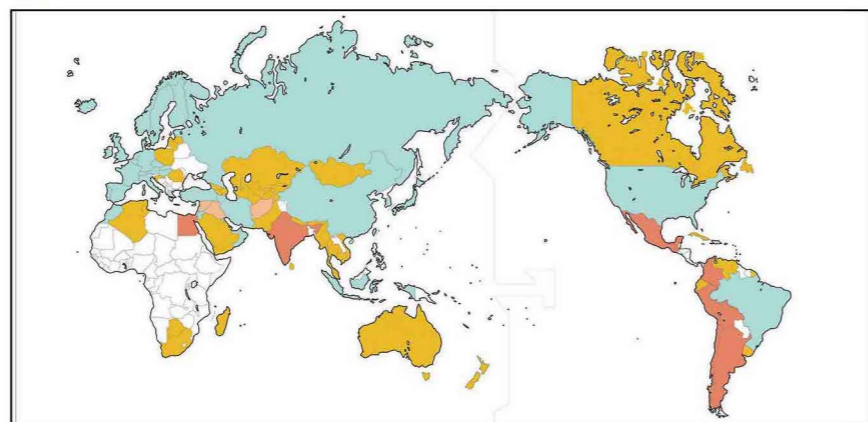
ヤ→キリスト→イスラーム、宗教の派生を理
解する為の/パレスチナと中東、湾岸諸国
は間に合ったが、アステカ/マヤ/インカ...
中南米文化理解はウイルスに負けている。

地球規模の調査感覚と日本での暮らす感
覚のバランスを意識し、国内の企画展・文
化&商業施設・建築・歴史・地理の調査も
並行して年300件以上行っている。世界各
国のグローバルな美や、トランスワ
ールドな美を受け止め、あらゆる美の
基本概念理解をベースに、自身の
オリジナリティを加えた「Ultra East
Design」を行っていきたく
と考えている。(Eastという概念も、
何だが...)

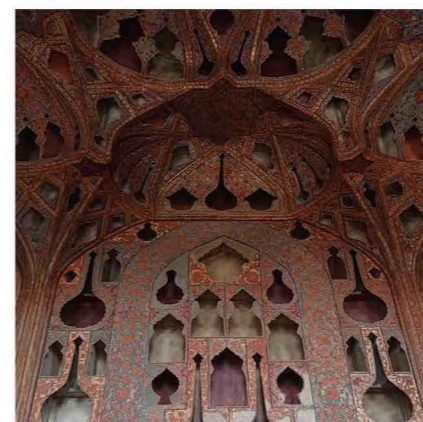
WHY→BECAUSE→FUTURE WAM
の設立へ

1・「無知の知」を背景とした知と美の探究
2・「能動的ニヒリズム」を背景とした「Cre
ation」
3・「異なる価値観や多視点との対話」を背
景とした真理の希求
このようなスタンスで、クライアント、
協業企業、JOBチーム、面白い事が好き
な人々と、様々な事象のメイカー/
創造主となれたら...。そのイン
フラとして、自身のMuseumを持つ
ことにした。World Aestheticism
Museum。まずは仮想空間から。

MAP



イスファハーン



カタール・ナショナルミュージアム



クウェート・フィッシュマーケット





JCD関東支部シンガポール研修旅行記

JCD関東支部では、2020年2月28日から3月2日までシンガポール研修旅行を開催しました。コロナウイルスにより様々なイベントが中止の最中の決行となったわけですが、この決断が極力、我々の身勝手とならないよう関係各所、現地の友人知人、懇親予定のIDCSやシンガポール政府などの情報を集め、個々の体調管理や予防策(マスク、アルコール消毒剤の携帯など)を行った上でのご承知ください。シンガポール内でもホテル、ショッピングモールに限らず街のレストランでも体温チェック、手の消毒が行われておりました。

ただ旅行記ですので、少々浮かれた表現もあるかもしれませんが、そのあたりはお許しください。

さて、今回は時系列ではなく、特に印象に残ったモノ・コト、また旅には欠かせない現地メシを中心にしています。

ムラカミ アツシ(文章・写真・構成)

株式会社design Chill-out
代表取締役/一級建築士
1974年3月生まれ
大阪にて建築設計事務所や
インテリアデザイン事務所を転々とした後
2008年8月独立を機に東京へ
趣味は旅・サッカー・キックボクシング



旅の始まり

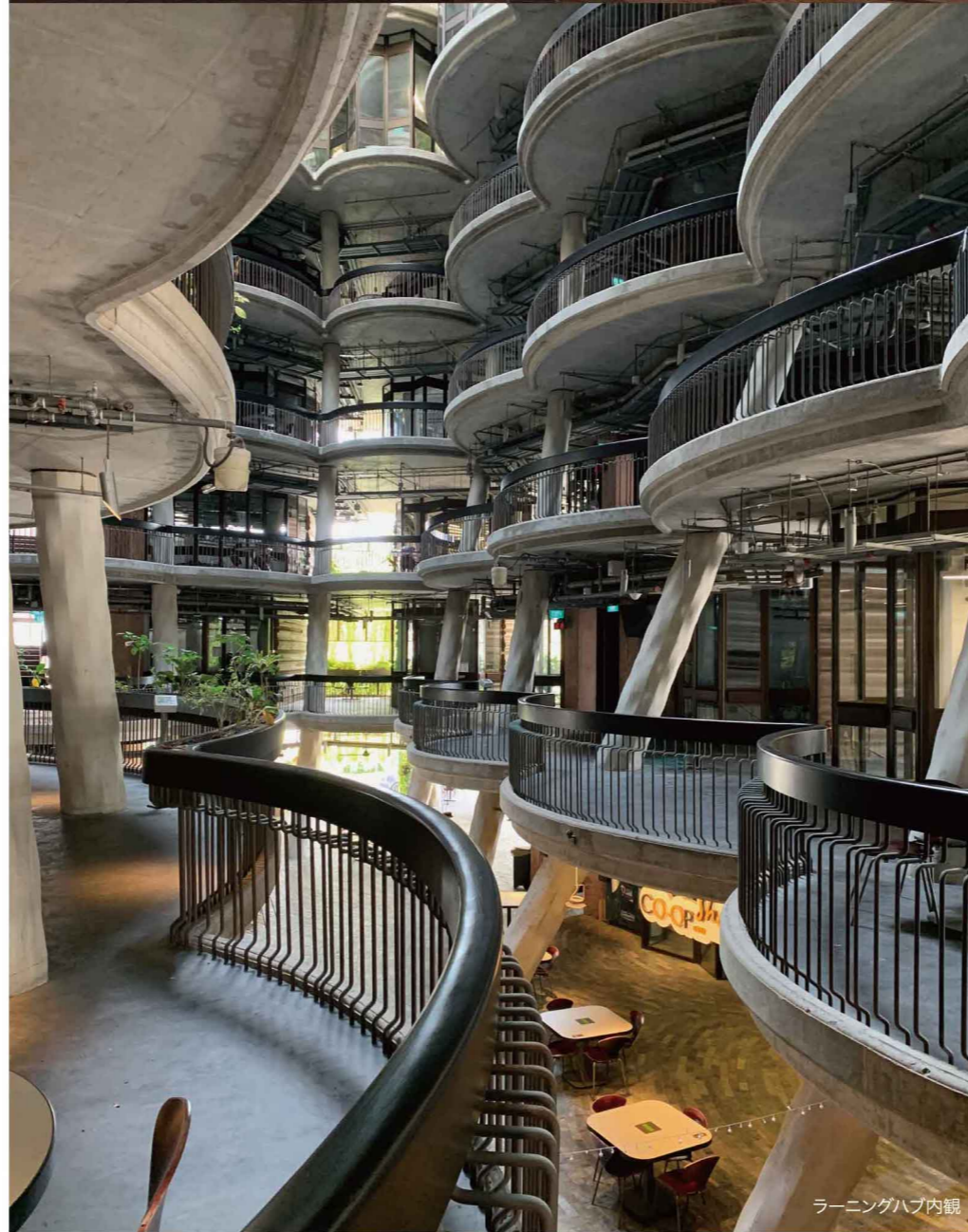
まだ薄暗く寒い早朝。それでも誰一人遅れることなく参加者8名は羽田空港に集合した。南国では不要となる上着をスーツケースにしまい込み、シンガポール航空のカウンターでチェックイン。出国エリアにて旅の無事を祈願し?早速ビールで乾杯を。この先、何度乾杯することになるのか。そしてこの研修旅行のために作ったと言っても過言ではない関東支部の真っ赤なフラッグと共にわかりやすく記念撮影。さて旅の始まりである。参加者の多くは自分がボスとして仕事をしているので普段から自由気ままである。(偏見で、ごめんなさい笑)そんな面々が集まってのこの旅。何かしらのハプニング、サプライズが起こる予感しかししない。現に過去の旅では途中の見学場所やサービスエリアで置いてきぼりになったり、空港で荷物を取り忘れがあったりも。せめて置いてきぼりだけは出さないでおこうと藤井先輩を常に確認しつつ、気を引き締め望んだ。見学ツアー用に僕らと通訳の方、たった9人を迎えに来てくれたバスが、なんの手違いか「45人乗り」超大型バスやった、というのがこの旅最初のサプライズ。その話はまたあとで。

マリーナベイエリアとGrabとCrab

シンガポール到着後、星さん特製のアマダくじでホテルの部屋割を行いチェックインした後、さっそくホテルからすぐのベイエリアの建築見学に出発。時刻は17:30。外はまだ30°Cと暑く、すぐに汗ばむ。まずはホテルからなぜかおじさんばかりがサッカーをしているグラウンドを抜け15分ほどのエスプラネードシアターへ。遠目から見るそれはドリアン。外装を覆う無数の折版が内部に光と影をもたらすはず?しかし、今回は内部において、その効果を感じる部分にはたどり着けなかったのが残念。そこを抜けると右手にマーライオン、正面にはマリーナベイサンズやアートサイエンスミュージアムが見える湾に出る。更にその湾を時計回りに歩く。徐々に近づいてくるマリーナベイサンズは「デザイン的」というよりは、その「存在自体」がベイエリアだけでなく、シンガポール観光全体に与えた影響が絶大だと思う。サンズのロビーやショッピングモールを横目にガーデンズ・バイ・ザ・ベイへと足を運ぶ。世界中から多種多様な植物が集められた巨大庭園である。その中でもひと際目を引くのが「スーパーツリーグループ」と呼ばれる高さ25~50mの18本の人工ツリーだ。ちょうど日も沈み、あたりは徐々に暗くなっていく。それと共に人工ツリーに明かりが灯る。そして壮大な音楽と共にショーが始まった。サンズをバックにそれ見ることが出来る特等席で15分ほどのショーを十分に堪能したところで、夕食のためにレストランへ移動することに。ここからそこまではタクシーで向かおうとしたのだが、ショー終わり帰る人がいっぱい。そこでこの旅で何度も利用することになる配車サービス「Grab」を利用。スマホのアプリに現在地から行きたい場所を書き入れるだけでほんの1分で迎えの車が、ほんとに便利だ。シンガポールでの初の夕食は、Chilli Crabで有名な「ジャンボシーフード」で見えるから豪華なChilli Crab2種、チャーハン、空芯菜などを注文。日本に限らずカニを食べるときは静かになると再確認。ただカニの値段は時価なのでそこそこ高額。まあ記念の食事やね。



ガーデンズ・バイ・ザ・ベイの夕景



ラーニングハブ内観



この旅最初で最後の贅沢Chilli Crab



9人のための45人乗りバス



朝のバクテー



ラーニングハブ外観

超大型バスとバクテーと車事情

朝9時、予定通りロビーに現地ガイドさんが来てくれた。公共交通では行きにくい辺りを日本語ガイド付き貸切バスで回ろうと、日本から予約していたのだ。ガイドさんの案内でホテル車寄せに行ってみると超大型バスが1台。中国人観光客が銀座に横付けしているサイズのあれだ。事前のやりとりでは17人乗りバスで迎えに行くと思っていたのでまさかと思い、別のバスを探すも見当たらない。でもガイドさんは笑顔でその超大型バスに迎え入れてくれる。一応、確認しておいた。「僕たち9人ですよ!？」と。でも、僕たちは窮屈なバスよりいいかとスグに喜んで受け入れた。金額も変わらんしね。ただ懸念も。それは車内を簡単に見渡せないので置いてきぼりを注意しないと!とまあこんな感じで若干9人を乗せた「45人乗り」超大型バスはホテルを出発し、まずはシンガポール西部に位置する南洋工科大学(NTU)を目指す。が、しかし腹が減ってはなんとやらで、ホテルから徒歩でもたった1分のところにある「SONG FA」というバクテーの店に行くことになった。ガイドさんからしたら「先に行っとけよ!」って話やったと思う。というのもシンガポールでは路上駐車に対する取り締まりが厳しいらしく、簡単に車をその辺に止めておけない。このあとの各ポイントでもそうやったけど、僕らが食事や見学をしている間、必ずどこかの駐車場に止める必要があった。しかも今回はこの超大型バスだ。どこにでもそれがあるとは限らない。その場合はグルグルと周辺を走らせながら僕たちを待つことになる。ガイドさん、ホンマにごめんなさい。でも?朝のバクテーはうまかった。ホロホロの骨付き豚肉とニンニクと胡椒がよく効いた豚骨スープ。コクがありつつも、さっぱりとしており、飲んだ次の日にもびったり。食事も終え、藤井さんが乗り込んだことを確認し、今度こそNTUへ出発したのだった。

飲茶建築 in NTU

NTUはシンガポール国立大学と双壁をなし、世界でも名門大学と位置づけられている。市内から車で30分ほどのキャンパスは200ヘクタール(東京ドーム43個分)もある。暑い日差しの中、歩いて回るには広すぎる。その点、僕たちは各ポイントでバスを下車して見学することが出来たのでよかった。特筆すべきはラーニングハブ(建築:トーマス・ヘザーウィック)という研究棟。そのセイロを積み重ねたような外観から別名ディムサムビルディング/飲茶建築とも。奇妙な別名とはうらはらに、外部の特殊な形状と内部空間の関連性が、この旅を通して一番心地良く体感できた建築だったと僕は思う。(この他にもシンガポールには建築のファサードや形状に力が入っている建築が非常に多かったのだが、...)まあ、シンガポールに限らず高温多湿な南国では建築の外と中の境界が曖昧なものが多い。ホテルのロビーや街で多く見られた回廊なんかもそう。外部化された内部、もしくは内部化された外部。その中間領域を作ることで、居心地の良さを出している。この建築は、それを現代建築的解決したものであったと思う。

IDCS (Interior Design Confederation Singapore)との懇親会

ある日の夜、シンガポールのJCDにあたるIDCSとの懇親会が行われた。それは今回の旅のもう一つの目的でもあった。リーダーのCameronはじめ、5名が僕たちを暖かく迎えてくれた場所は、先方が普段使っているという「JAM at Siri House」というレストラン。JCDで言うところのデザインセンター向かいの刀削麺か？(とっては失礼か)そこは大変人気のレストランで、一般客席が満員の中、30人くらいのパーティが出来そうなVIP個室をご用意いただいた。乾杯し、しばし歓談の後、モニターを使っての自己紹介タイムとなった。総勢15名と大勢なので、星さんからの事前通知では1人の持ち時間は2分。先陣を切った僕らのリーダー星さんが優に15分(いや、もっと?)もお話されたのはご愛嬌。って、その後のだれも持ち時間を守らへん(笑)そんな初対面でルール無用の僕たちの話を終始にこやかに聞いてくれていたIDCSのメンバーには感謝しかない。僕らの後はCameronがIDCSを代表して組織についてのプレゼンをしてくれた。IDCSにも日本空間デザイン賞のように国際的なデザイン賞があり是非参加をということだった。僕たちも思い出したかのように日本空間デザイン賞をアピール。お互いにとって有意義な時間となったのは間違いない。その後はぜひ行くべきだと教えていただいたナショナルギャラリー内にあるバー「Aura」へ。そのテラス席はマリーナベイの夜景を一望できる場所で、心地の良い風を受けながら美味しいビールをたんまり飲んだ。



IDCSとの懇親会

庭の中にある街

シンガポールの街中には緑が溢れている。アジアの都市部でこれほどのところを僕は知らない。「街中に」とは街路樹や公園などだけでなく、建築自体の外装にも、内部にもだ。シンガポール政策に「庭の中にある街」を目指すものがあるという。どこに行っても、ここがそういった政策の基に成り立っている街だと容易に気づく。先にも記述したが元々、高温多湿の南国においてはそれを緩和するための装置にもなる多くの街路樹や建築の内外の曖昧さがある。それにプラスして政策でも建築の緑化を進めているのだ。それが体現されている代表的なものとして、パークロイヤルピッカリング、マリーナワン、ルーカス・フィルム・シンガポール、そして玄関口であるチャンギ空港のジュエルが挙げられる。2030年までにはオフィスビルの80%をグリーンビルディングにするらしい。その頃には本当に「庭の中にある街」になっているだろう。



マリーナワン

DUO

ハジレーン内

パークロイヤルピッカリング

インターレイス

ロンクハ

チャンギ空港ジュエル

お茶目な二人

チャンプル国家・シンガポール

4つもの公用語を持つシンガポール。建築も植民地時代のコロニアル様式のものから超近代的なものまで入り乱れている。またチャイナタウン、リトルインド、アラビアンストリートなど東京23区ほどの小さな国土にはチャンプル国家を演出するエリアもある。ある日、チャイナタウンでの昼食後、MRTを乗り継ぎアラビアンストリート近くのハジレーンへ向かった。最寄りのブギス駅にはアンダーズホテルも入るDUO(建築:オーレ・シェーレン)がそびえ立っている。無機質だが有機的なファサードもさることながら、空の切り取り方もおもしろい。別に見学したインターレイスやマリーナワンなんかと同じく空の切り取り方が特徴的で見る角度が変わるとまったく違う印象を覚える。ともすれば、奇抜なだけのデザインと捉えられる可能性すらある建築も受け入れる部分にシンガポールの多様性を感じることが出来た。駅から10分ほどでハジレーンに到着。ここにはいわゆる「映え」スポットが点在しており、普段は竹下通りよりよくくぐった返しているのだが、今や世界中の観光客がそうであるように、人通りもまばら。肯定的に捉えたとすれば、ゆっくりと散歩することが出来ると言える。しかし本来の姿でないことは極めて残念だった。このような街や通りは「計画的」というより、「人の集まり」によって出来上がっているものだ。その賑やかさ抜きには不完全である。

現地メシとビール

この旅で、多くのホーカーズに立ち寄った。ホーカーズとは、基本的に外食文化であるシンガポールの方も利用する屋台街で、市内に大小様々いくつもある。ある日の昼食に訪れた「マックスウェル・フードセンター」では各々がチキンライスや麺類とビールを。また夕食に訪れた市内最大級と言われる「ラウ・パ・サ・フェスティバル・マーケット」では着席後に注文を取りに来てくれるシステムでサテをみんなでシェアしつつ、ここでもビールをいただく。シンガポールでの食事はすべてホーカーズでいいのではないかと思うほど気に入った。空調によるものでない心地の良い風を受けながら地元の生活も垣間見えるから。決してビールが飲めるから、というだけではない(笑)また別の日の昼食にと立ち寄ったペーパーチキンの店「Manhill Restaurant」。正直、今回の旅でノリねーに教えてもらうまでペーパーチキンがローカルフードやということは知らなかった。ひと口大のぶつ切り鶏肉をタレやスパイスに漬け込みパラフィン紙で包み、油で揚げたものである。紙で包んで揚げているので旨味の凝縮した肉汁もたっぷりで柔らかくジューシー。お昼であるが当然?ビールを合わせいただく。これもまた最高の組み合わせ。

まとめ?

いやいや、全然書ききれへん!この他にもホンマに多くの建築、文化など見どころ満載のシンガポールやった。これでは、まとめがまとめにならんから、どこか別の機会にでも皆さんと共有する場を設けたいなあと切に願う。



チキンライス

ラウ・パ・サ・フェスティバル・マーケット



サテ



ペーパーチキン



東北支部 Soda 活動報告

東北支部正会員 山新建装株式会社加藤景子
東北支部賛助会員 株式会社遠藤照明仙台営業所 山路真規

令和元年度東北支部でのSoda活動は1月29日青森市立大野小学校6年生3クラス97名の生徒を対象に行われました。東北支部ではこれまで秋田市、宮城県東松島市、宮城県石巻市、福島県郡山市と行っておりましたが、今回青森県での初開催となりました。講師も本部より新藤さん、木村さん、星さん、村上さんの4名と東北6県から28名集まりましたが、講師の3分の2がSoda初参加で、開催までに青森地区会員に2度説明会を行い当日を迎えました。大野小学校では、講師控室の理科室にテーブルクロスを敷いて父兄の方々からお茶、お菓子などを準備して頂き、皆を迎えて頂きました。この日はSodaの自由参観日になっており、準備して頂いた父兄の方々も1時間目から発表までご覧になられ、先生、生徒、父兄の方々皆より温かくお迎え頂き、初参加の講師も少し安心した様でした。今回初参加して頂きました、お2人の感想を頂きましたので、ご紹介させていただきます。

【正会員】

山新建装株式会社 設計デザイン室 加藤景子
初めての真冬の青森。記録的な暖冬となっている日本列島ですが、青森市も同様に雪がなく、雪国のイメージとはかけはなれていたのでとても驚きました。通学する子供達の姿、足取りも軽く、微笑ましく思いながら青森市立大野小学校の門をくぐったその時、「おはようございます!」の元気な声。すれ違う度に視線を合わせた笑顔、交わされる挨拶、その快活さが嬉しく心踊る

朝の光景でした。

JCDに昨年入会したばかりで、Sodaワークショップは今回が初参加。子供好きな私は、小学生と一緒に活動することが何より楽しみではありましたが、同時にどんなことをするのだろうと不安もありました。担当した班の構成は男子6人女子3人。班ごとに「理想のお店」を1作品作ります。事前に生徒たちは授業の中で話し合い、店名や何を売るお店なのかを決めていました。その内容に基づきどんな感じにするかを話し合った

後、壁・床・サイン・家具作りに分けたグループで、早速材料選びです。普段見たことのない材料を前にみんなは興味津々です。手にとり色んな角度からじっくり眺める生徒、次から次へと底から材料をひっくり返しもっと面白い材料はないのかと探す生徒、手当たり次第自分のテーブルに材料を持ってくる生徒。「目にする・触れる・選ぶ・どう使うか考える」材料選びに生徒たちの頭はフル回転し、目をキラキラと輝かせている姿は印象深いものでした。材料を前に、こうしてみようとすぐ手を動かす生徒には、描いたイメージを大切にしたいので、自由に思うようにやってみてと言いつつ質問があった時にアドバイスをするといった対応でした。傍ら、頭の中に?マークがたくさん浮かんでいるんだろうなあという生徒もいます。そんな生徒に対しては、隣に座ってこんな風に作ったらどうなるかな〜と一緒に手を動かしてみたり、先生はこんな材料使ってやってみないなあ、あなたはどうか?と一緒に材料を選んだりしました。Sodaワークショップで生徒たちと触れ合う



授業風景



製作風景



製作風景



紙粘土で作った商品

中で特に意識して考えていたのは、できるだけ私の考えを押し付けたりしないという事です。可能性を引き出し自由な感性や常識に囚われないデザインを見てみたいと思ったからです。ただ、個性を活かしつつ一つの班の作品としてまとめあげるのには難しい体験でした。今思えば、班全員でイメージの共有を徹底する事、途中生徒に立ち止まり考えさせる事が必要だったのかなと思います。Soda事業はデザインの芽を育てだけでなく子供達の世界を広げる素晴らしい機会です。体験させて頂き感謝申し上げます。

【賛助会員】

株式会社遠藤照明仙台営業所 山路真規
「夢いっぱいデザイン店」
例年であれば雪いっぱいの校庭も当日は雪がなく、ちょっと寂しい気もするけれど普段は雪が多いところで暮らす子どもたちはどんな子たちだろう?そんなわくわくを胸に準備のため前日校舎に入ると、部活動に励む子どもたちが元気な声で、「こんにちわ!」と声をかけてくれた。普段あまり見ることのない

光景だからだろうか、挨拶をしてくれながらも子どもたちはキョロキョロとしていた。そんな子どもたちをみて明日が楽しみという気持ちと礼儀正しい挨拶を受けて気が引き締まった。Soda活動当日、新藤委員長や村上講師のレクチャーを終え、教室に入ると元気いっぱいの子どもたち。私の担当したグループは8人の班で、さすが6年生!というような落ち着きを感じた。簡単な挨拶をかかわった後早速作業に取り掛かった。私のグループテーマは「近未来駄菓子屋」「どんなお店を作りたいですか?」と尋ねると、「お菓子やパン、USBも売っているお店を作りたい!」とほっきり答えてくれた。自慢は「お店にAIの店員さんがいて支払いがすべてクレジットなどとする」その時点で不思議とぼっと、お店のイメージが出てくるくらい子どもたちの新鮮な世界観を感じる事が出来た。床・壁・看板・什器とチームに分け、そこからは子どもたちそれぞれのイメージの世界がいきいき動き出した。素材の切り方、貼り付け方法を少しレクチャーしただけで子どもたちの感性

で素材を持ってきて組み合わせ始める。最初は迷っていたり、なかなか決められずにいる雰囲気を感じたが、組み合わせ方などの簡単なアドバイスで自然と個々の装飾の色が出ていった。近未来というテーマのごとく個々が組み合わせる素材は私には完成系が想像できないくらいの世界観が溢れ出ていた。そして、それは最後パーツを組み合わせたときにもっと感じることが出来た。最初は迷っていた子どもたちも「おお!すごい!」と手を合わせて飛び跳ねた。その子どもたちの高揚感は今でも思い出すくらい嬉しい。そこには作りたいお店のデザインイメージが個々で違ってもその想いや目的が一緒というだけで一体感が生まれる作品になっていた。今回の活動を終えて、デザインの自由性と自分自身の素直な直感の可能性は誰も想像できないようなお店を作り上げる力があると感じた事、それと子どもたちの夢いっぱいのお店に大きな可能性を感じる事が出来た。



加藤景子 (かとうけいこ)
山新建装株式会社 設計デザイン室



山路真規 (やまじまきこ)
株式会社遠藤照明仙台営業所



材料選び



製作風景



パラルゼガミライ



近未来駄菓子屋



ハイタッチ

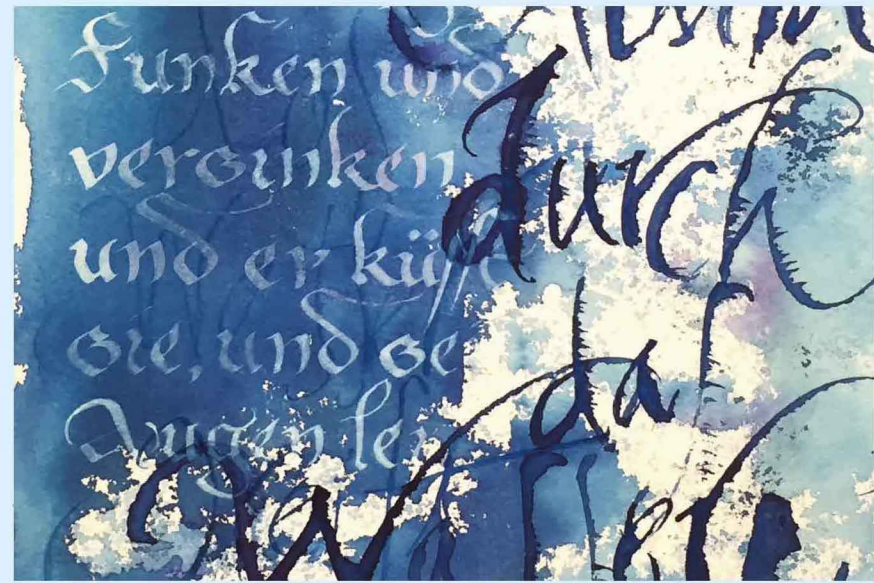
新人会員のご挨拶!

『Das ist YOKO FRAKTUR』



ヨウコ フラクチュール (YOKO FRAKTUR)

アートカリグラファー・アーティスト/クモノデザイン株式会社2018年6月より空間デザイナーでアートディレクターの雲野一鮮氏とのデザインユニット fRAum (フラウム) を結成。「Art Fair Tokyo」公式Art Book表紙(2019・2020)、岡山県井原デニム プロダクト発表(2019 Paris)、サンリオ公式コラボアーティスト(2019)、DESIGNART「fRAum at TAKEO KIKUCHI」京都西陣織コラボ(2019)、ザ・ギンザ 開館1周年記念展 ビジュアルデザイン(2019)、資生堂ビューティー Art Book直筆タイトル(2019)、ARS scribendi ヨーロッパカリグラフィー協会会員、「GOOD DESIGN AWARD 2014」受賞、「第11回 世界ポスタートリエンナーレTOYAMA 2015」入選、「IDM TOKYO 2018 AWARD」優秀賞、「Sky Design Awards 2019」ショートリスト



<ヨウコ フラクチュールの成り立ち>

洋裁学校をしていた母の影響で、色とりどりの生地や糸、外国のファッション雑誌に囲まれながら過ごした幼少期。母は幼い私が絵を描くにも大人用のクレヨンを与えてくれたり、ブラウン管のアイドル歌手に夢中になれば翌日にはそっくりの衣装をサッと縫い上げてくれたりする人でした。大好きな母でしたが私が小学生の時に他界。悲しいけれどその分、母の残してくれたDNAを大事にしようと思い、心におしゃれと明るさと笑いを持って生きることを誓います。そんなところが自分のベースとなっているんだと思います。

<海外への転機>

大学では英語を専攻し、一部上場企業本社所属と就職したOL時代、社内で目にした航空会社の海外レポート特派員募集の記事に、得意のイラストでインテリア探しの旅企画を提案。採用され、Sirの称号を持つイギリス貴族の家をレポートする事になりました。古き良きアンティーク、コッツウォルズなど自

然を愛する貴族の暮らしに、すっかり虜となった私は数年後にイギリスに渡る機会を得、欧米文化を学びながら、計10年以上住む事になります。「Wimbledon College of Arts」では、イギリスでは絵本の為のillustration、ルクセンブルクでは絵本作家の元で水彩を学び、大公妃のチャリティーも経験させてもらいました。そして知人の紹介でドイツのアレキサンドラメス女史に出会います。

<我が師匠>

師はカリグラファーの二代目でエリザベス女王やドイツ政府のゲストブック、そしてロードオブザリング蔵書の担当者であるヨーロッパでも最高峰のカリグラファー。最初に師の作品を観た時、大きな衝撃を受けて以後師事する事になります。多くのカリグラファーは見本通りに書く教本的なものであるのに対し、彼女の線に感情を乗せた芸術表現は、文字が性格を持った生き物のように見えてくるのです。カリグラフィーと単純に呼びこは何か足りない、Artがそこにはありました。考えてみれば、日本



の書道にも習字から現代アートまであるので、カリグラフィーも然りです。本場に行かなければ気付かない発見でした。因みに英語では、「Character=性格」として知られてますが、加えて文字という意味も込められている事にずっと合点がいくようになりました。こうして美術学校のカリキュラムだけでは学ぶことの出来ないレメスの教えを直接受けることが出来たのは最高の環境だったと思っています。

<アートカリグラフィーとして>

日本に戻ったのが2007年頃。当時カリグラファーは耳馴染みの無い職業でした。日本では結婚式の筆耕、宛名書き、趣味としてだけの取り扱われ方に、何か違和感を覚えます。本場で見聞きしてきたもっとアートなカリグラフィーを打ち出さなければ!と思った私は*リガチャーや*オープンカウンターなどのテクニックを目の前で見せるライブパフォーマンスを始める事にしました。今でこそ動画で見れますが、SNSが普及していない時代、欧米で始まったカリグラファーパフォーマンスを日本で初めて企業と

組み開催したのです。そうした活動が出版や広告代理店の方の目に止まり、講師、装丁デザイン、新聞や女性誌にも取り上げて頂くようになり、ようやくカリグラファーという言葉が少しずつ浸透するようになってきた頃、今度は空間デザイナーの雲野一鮮氏に出会います。

<fRAum(フラウム)結成まで>

雲野氏は長年、ファッションを中心とした空間デザインのプロフェッショナル。私が自分の作品を見せると、雲野氏はそれを暫く眺め、その場で感想を言ってくれました。実はその作品には、オリジナル且つ専門的な技術をかなり入れ込んであったのですが、それを雲野氏は的確に言い当てたのです。「文字を扱す目を持つ人物」に会えた瞬間でした。そして各々の役割を活かしたデザインユニットfRAumを結成する事になるのです。

<文字に革命を>

長い歴史の中で、様々な書体があるのは、アートアンドクラフト運動にも見られますように、新

しい時代への革命があったからこそです。そう考えますと「アートカリグラフィー」と名付け、fRAum(フラウム)として取り組んでいる事、例えば、有機ELと文字の世界最先端の灯りや、「金属線織物と文字の京都西陣織」などのブランディング等もカリグラフィーの歴史にとっては間違えなく革命と言えましょう。ご縁が元でJCDの会員となりました今後、様々な材料、プロダクト、商空間との組み合わせによって多くの皆様と関わらせて頂きながら、「アートカリグラフィー」としても更なる変革を起こしつつ歩いていければと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

*リガチャーは隣り合った文字を連結する事。組み合わせにある程度の規則がある。
*オープンカウンターはcなどの右側が開いている事で次に来る文字を隙間なく付ける伝統的手法。フォントとは使用法が異なる。



関東支部クラブ活動



左より3カット@富良野



以下6カット@草津



スキー部! 関東支部 根井 淳

2018年10月、関東支部研究セミナーとトークの会場となった椿サロン銀座でスキー部は発足しました。トークゲストは椿サロンオーナー、札幌支部の長谷川演氏。講演に感激した水谷弥生さんを中心に話の流れから北海道でスキーをしたい人の輪が広がりました。スキー部部長は長谷川演さん、副部長は水谷弥生さんです。

2019年1月に遂にスキー合宿が実現。7名が富良野に集合しました。スキーは十数年ぶりでしたがパウダースノーを満喫。夜はウニと地鶏をたいらげ、焼き鳥屋ご主人秘蔵のスコッチを飲み比べ。ハイトーンで声を通るメンバーもいるので向かいの部屋のオーストラリア人から「お静かに」と怒られる場面もありました。夜部屋に戻ってからも下平万里夫さんの個人レッスンを受けていた水谷晶人さんをはじめデザイナーは集中力が凄い! 思いっきり楽しめた富良野でした。

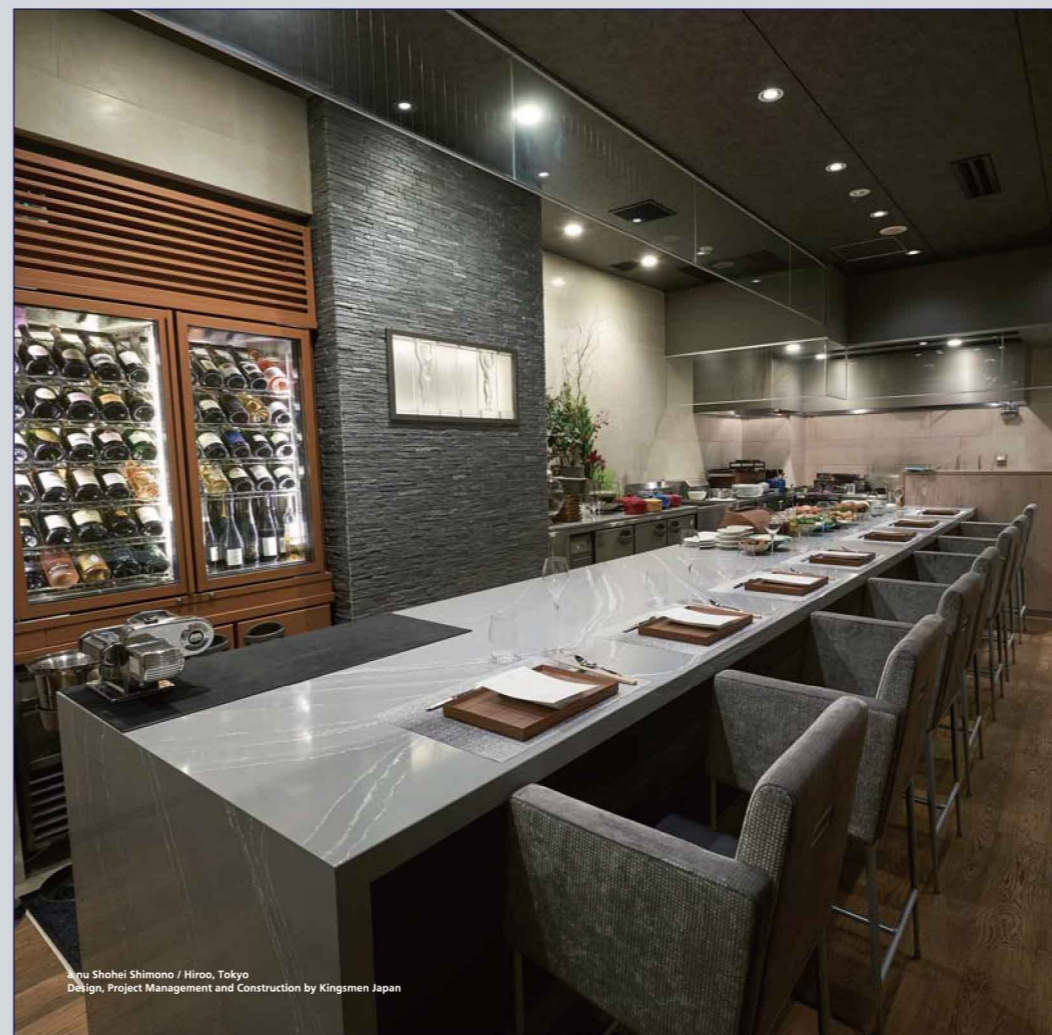
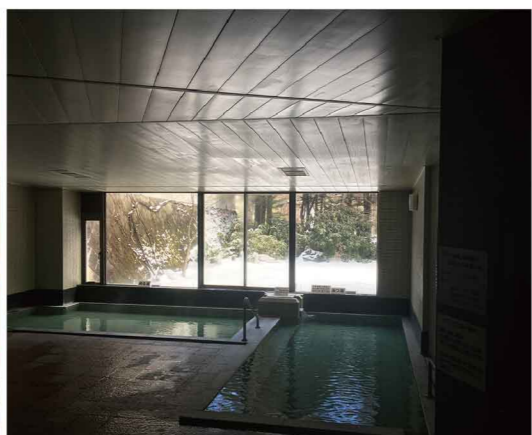
2日目の午後からはスキーチームと札幌の長谷川作品を見学するチーム(スキノで飲むチーム)へ別れ、2泊3日の第1回スキー合宿が終わりました。長谷川さんには札幌・富良野の移動、市内の作品見学、おいしいお店等々大変お世話になりました。藤原さん、下村さんと4名で勉強にもなり楽しい時間を過ごしました。

スキー熱は冷めずに20年1月30日~2月1日の2泊3日で第2回スキー合宿が実施されました。

今回は村上敦さん、小柴順二さんが参加。場所は草津。万里夫さんのビラに宿泊させていただきました。地階にある掛け流しの温泉は入浴放題。もちろん温泉卓球も。水谷夫妻はお揃いのウェアで登場。暖冬で雪不足が心配されましたが、金曜日は雪も降り新雪も楽しめました。

土曜日は快晴。万里夫さんと弥生さん以外の5名はスノーボードチームへ。波乗りも上手な順ちゃん、運動神経抜群の敦ちゃん、スケボー少年だった晶ちゃんはスノボも乗りこなしていました。40~60代でちゃん付けも変ですが、遊び仲間ほそれだけ仲良くなります。私は藤原コーチの個人レッスン。翌日は体が痛くなりました。よく遊び、よく食べ、よく笑い、楽しい合宿となりました。草津は温泉良し、食事良しな良い所です。木曜日の夕方出発、金・土と滑って土曜の夜には自宅に着くスケジュールは渋滞に遭わずにスキーも満喫できました。

スキー場の施設はどこも充実しています。ウェアや道具もレンタルできる時代なので、ご興味のある方はお気軽にお声かけください。一緒に楽しみましょう。



Anu Shohel Shimono / Hiroo, Tokyo
Design, Project Management and Construction by Kingsmen Japan

kingsmen

A communication design & production group

We Understand Your Needs

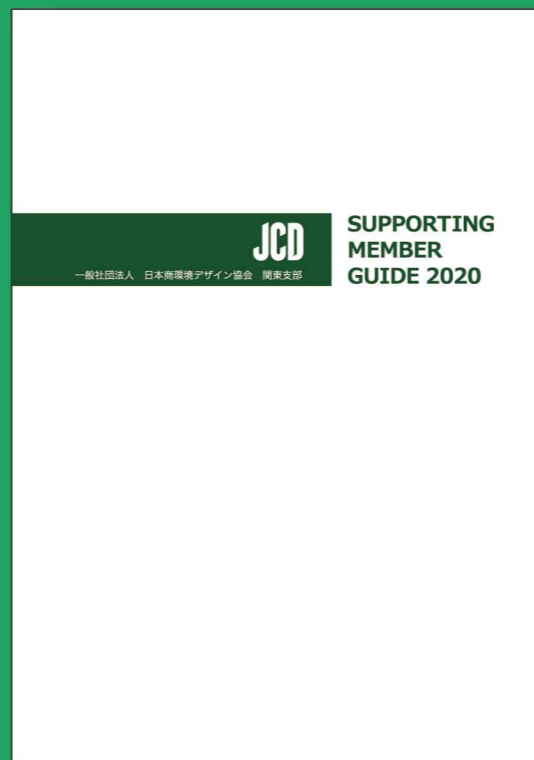
Knowing the importance of effective communication, good design, and excellent service, our dynamic team is committed to meeting your every need with our integrated capabilities.

株式会社キングズメンプロジェクトジャパン
〒151-0072
東京都渋谷区幡ヶ谷 1-1-2
朝日生命幡ヶ谷ビル 9階
TEL: (03) 5365-2991
WEB: <http://www.kingsmen.co.jp/>
MAIL: info@kingsmen.co.jp

Singapore (HQ) · Bangkok · Beijing · Busan · Dubai · Hanoi · Ho Chi Minh · Hong Kong · Jakarta · Kuala Lumpur · Los Angeles · Macau · New Delhi · Osaka · Phnom Penh · Seoul · Shanghai · Shenzhen · Taipei · Tokyo · Yangon

待望の
JCD賛助企業パンフレット発刊

3月下旬発刊、4月以降配布予定。
全国賛助企業と関東支部賛助企業の
製品写真・取扱製品や企業データ等を記載。



JCD関東支部 新入会員・賛助会員

石井 誠
 BLANK Creations, inc
 88 South 8th Street, Brooklyn, NY
 E-mail:makoto@wonderfulworkers.com URL:http://blankcreations.com

中谷 亜紀子
 Ena-feel
 東京都品川区平塚3-2-13-305
 TEL:03-3782-0798 FAX:03-6421-5478 E-mail:nakatani@enafeel.com URL:http://enafeel.com/

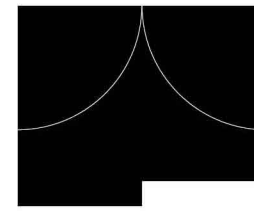
佐竹 永太郎
 STAR/エスティエアー 代表取締役
 東京都北区東十条2-4-7
 TEL03-3914-8404 FAX03-3914-8412 EMAIL satake@starchitects.info URL www.starchitects.info
 主な業績 1 INFINITO HOTEL&SPA南紀白浜(ホテル、和歌山県白浜町、2017年)、2稲毛陵苑(寺院、納骨堂、千葉県千葉市、2018年)
 3 Peak Café(スキー場カフェ、北海道大沼町、2016年)、4 Jack Daniel(バー、東京都中央区、2014年)、5 JR大阪三越伊勢丹(百貨店、大阪府大阪市、2011年)、主な資格 一級建築士、不動産コンサルティングマスター

株式会社アステック
 担当 内山 雅揮
 神奈川県横浜市都筑区中川
 14-1 ハウスエア4F
 TEL:045-914-0026
 FAX:045-914-0030
 URL:http://ustech-jp.com

株式会社メイク
 担当 寺島 順一
 東京都新宿区四谷本塩町14-1
 第二田中ビル4F
 TEL:03-3288-6275
 FAX:03-6273-2166
 URL:https://premium.ipros.jp/meikus/

フォリア株式会社
 担当 加賀 正人
 東京都港区芝大門2-2-1 ユニ
 ソ芝大門二丁目ビル6F
 TEL:03-5404-6946
 URL:https://fogliacorp.jimdofree.com/

2020年2月末現在 入会順



KUKAN DESIGN AWARD 2020
 SPATIAL DESIGN INITIATIVE JAPAN

「日本空間デザイン賞 2020」
 応募受付開始のお知らせ

作品応募期間:2020年4月1日(水)10:00~5月16日(土)23:00(日本時間)
 作品は全てWEB上での応募となります。
 応募専用サイト:https://kukan.design/
 応募カテゴリ:展示系、商業系、オフィス、住宅など全11ジャンル
 賞の種類:
 - KUKAN OF THE YEAR:金賞作品からファイナル審査にて選出された作品(1~3作品)
 - 金賞、銀賞、銅賞 (各11ジャンルから選出)
 - BEST100(Short List)
 - 入選(Long List)
 応募対象や審査方法、応募費用などその他詳細については、下記の募集要項掲載ページをご覧ください。
 https://kukan.design/

左官

特殊左官工事
 HARADA SAKAN



有限会社 原田左官工業所 TEL:03-3821-4946
 FAX:03-3824-3533

〒113-0022 東京都文京区千駄木4-21-1
 E-mail : sakan@haradasakan.co.jp
 homepage : http://www.haradasakan.co.jp



Pebble SHEET 左官洗い出し仕上げ・ペブルシート施工
 既存面上から、施工可能。
 短工期で施工します。

株式会社プラン・ドゥ・モトハシ
 〒177-0042東京都練馬区下石神井3-9-10 ガーデンハウス・ベル石神井1-101
 TEL03-5923-6505 (代) FAX03-3904-1920
 info@plando-group.co.jp

MEGA.Group

店舗・商業施設用家具のエキスパート

BELL FURNITURE
 株式会社ベル・ファニチャー

【本社ショールーム】
 〒232-0014 神奈川県横浜市南区吉野町4-17-3
 TEL:045-252-1411

【渋谷ショールーム(予約制)】
 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-12-1
 渋谷マークシティウエスト14階
 株式会社オフィス空間内 TEL:03-5457-1333(担当:神崎)



内装石張り工事の常識を打ち破る、極薄天然石とFRPの複合石パネル。

UTパネル
 Ultra Thin Panel

2mm~5mm厚にスライスした天然石材
 最薄3.5mm
 FRP(ガラス繊維補強プラスチック樹脂)

- 極薄・超軽量/2~5mm厚の天然石とFRP基盤を張り合わせた超軽量複合パネル。厚さも最薄3.5mm。軽いから運搬費の軽減にもつなげます。
- 美しい仕上がり/原材料は、大理石や御影石などの天然石。見ても触れても無垢材と変わらない美しい表情を実現。
- 要望に応じた加工/工事内容に応じ、最大700mm角までのパネル化が可能。さらに、色彩や紋様のつなぎ加工など、細かなオーダーにも柔軟に対応。
- すぐれた経済性/特にリフォームの場合、既存の壁・床の仕上材を取り除くことなく、上から張れるので施工期間を短縮でき、トータル工事コストも軽減。

トイレ改修工事 UTパネル施工 石種:ペリニオ・ネーロ

石のソリューションカンパニー

ソリュート株式会社
 〒101-0031 東京都千代田区東船場2-7-1 (住居ミヤビル4F)
 TEL:03-5809-2815 FAX:03-5809-2816
 http://www.esg-japan.com

建築文化を創造する
 株式会社 **ユニオン**
 www.artunion.co.jp

本社・大阪支店 〒550-0015 大阪市西区南堀江2-13-22tel 06-6532-3731 東京支店 tel 03-3630-2811 名古屋営業所 tel 052-363-5221

透明感と存在感が一つになった**和モダンアーチ組子付**
 伝統工芸品、「組子」。その直線と曲線が繊細に組み合わせられる組子を屋外でも使用できるように新たに再構築。日本の装飾美をあしらった車止めアーチが和モダンシリーズに加わりました。

影もデザインする門型車止め
 2020年5月発売

株式会社 **サンポール**

〒105-0004 東京都港区新橋2-2-9KDX8F
 TEL03-3591-8501 FAX03-3591-8561
 URL www.sunpole.co.jp

商品のお問い合わせは 販売促進課 若江まで
 ☎ y-wakae@sunpole.co.jp

関東支部令和1年度組織図

各々の委員会は委員を募っています。今年度、活動お疲れさまでした！



JCD
KANTO Designers

発行人 小田秀樹/関東支部長
 編集長 古川紳太/広報委員会
 編集委員 大滝道晴/広報委員会

表紙 話題の施設
 渋谷駅周辺の開発に伴い、鉄道機能も新しくなりました「地下鉄銀座線駅」。特に、東京メトロ銀座線「渋谷駅」は今年から広々としたホームになり、美しく、安全なホームとなりました。

癒しの空間...

New WABURO from USTECH



NEW

浴室は、旅の癒しの中心へ

自然素材「ヒノキ」x天然石「御影石」のラグジュアリー浴室の新シリーズ誕生！
 シンプルフォルム高級ユニットバス「WABURO QL LINE」を新発売！

QL 1616 W1600 x D1600 x H2184 mm 本体価格 ¥1,850,000(税抜)
 QL 1620 W1600 x D2000 x H2184 mm 本体価格 ¥1,980,000(税抜)
 ☆ ショールームにて展示中

PRESS RELEASE:



東京ショールーム: 東京都港区南麻布2-11-10
 TEL 03-6435-4726 FAX 03-6435-4728



無添加でぷるぷる
 「椿サロン」の北海道ほっとけき。

銀座6丁目ソニー通り



tsubaki salon
GINZA



東京都渋谷区猿樂町9-3-B1F
 TEL: 03-6455-1865
 OPEN: 19:00 ~
 B1F: 9-3, Sarugaku-cho, Shibuya-ku, Tokyo.
 URL: <http://liquorandcigarettesm.com/> LIQUOR and CIGARETTES



代官山に小さな Bar を開業しました。
 ケニアで撮影したチーター達が待っています。

株式会社西脇一郎デザイン事務所 / 株式会社エヌ・プランニング